

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 : 株式会社 Medicare C&E

企業 URL : <https://p-aging.com/medicare-ce/> (ハイパーリンクを挿入しておいてください)

※ A4 2面（裏表）一枚に、1機種の情報が入るよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

- 居室 トイレ 個室 個室脱衣所 特殊浴槽 特殊浴槽脱衣所
- 食堂 多目的ホール（共有リビングスペース） 看護・介護ステーション リハビリ室
- 会議室 事務室 送迎車 その他（介護事業所現場・チームの生産性向上活動）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに1つに○をつけてください

- 見守り支援 移乗支援 移動支援 入浴支援 排泄支援 食事支援
- リハビリ支援 介護記録等 介護業務支援 居室環境等管理支援 ヘルスケア
- その他（現場チームの業務改善および DX コンサルティング）

3 製品／サービスの特徴

人材の採用・定着にリソースが割かれ、生産性向上まで手が回らず、負のスパイラルに陥っている職場

に対し、

チームで成果を生み出す業務改善手法・DX 活用法を身に付け、改善文化を根付かせることで社員エンゲージメントを高める

ことができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

- 介護者の身体的負担軽減 介護者の精神的負担軽減 介護スタッフ間の連携強化
- 被介護者の安全確保 被介護者の QOL 向上 被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
- 人材育成・定着促進 周辺業務の効率化・省力化 業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名：介護事業所向け業務改善および DX コンサルティング

製品／サービスの URL : <https://p-aging.com/medicare-ce/>

製品／サービスの写真・動画 管理者と現場スタッフ双方が納得して進められる改善テーマを選定します。以下はそのテーマ選定イメージです。

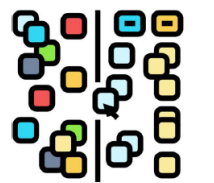
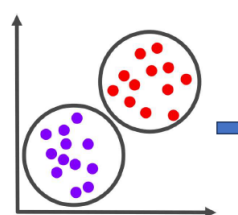
神戸市内介護事業所で25年2,3月に実施した事例です。

①現場の困りごと

少人数で膨大な事務処理を取り扱う事務部門。普段の仕事に忙殺されて、改善活動には手がつかず。管理職も改善活動の進め方もよく分からない。

②解決策

製造業でよく使われる品質管理の手法を導入。



スタッフと管理職による
定量評価



6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

対象となる現場チームへ生産性向上活動の伴走型支援を提供します。課題抽出、改善テーマ選定、解決策立案、実行支援、効果の確認および時期活動への反映を一気通貫で支援。製造業の最先端で使われている「品質管理」手法に、業務自動化プログラミング手法を掛け合わせた独自メソッドによりチームで成果を上げる生産性向上活動をサポートします。

想定価格：約 10 万～ / 1 月 （対象チーム、支援内容により見積は変動します。）

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

- 介護者（施設ケア） 介護者（在宅ケア） 被介護者（施設ケア） 被介護者（在宅ケア）
 リハビリ利用者（集団） リハビリ利用者（個別） 管理者（スタッフ管理） 管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ

被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ

被介護者の状態次第にて利用可能 → 下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定

- 要支援 1、2 要介護 1 要介護 2 要介護 3 要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）」

- 自立 ランク J（生活自立） ランク A（準寝たきり）

- ランク B（寝たきり／座位保つ） ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」

- 自立 ランク I ランク II（a・b） ランク III（a・b） ランク IV ランク V

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

本サービスは、介護事業所スタッフ・マネジメントの皆様が利用者様へのサービス（コア業務）質向上にリソースを割けるように、ノンコア業務（間接、付帯業務）の生産性を高めることで省力化を図るチーム生産活動を支援するコンサルティングになります。このため、最終的な利用者様の状態には特に関係なく、事業所様にてご利用いただけるものとなっております。

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

25 年度に神戸市内介護事業所の事務課へ 1 年間コンサルティングを実施した成果の一例をご紹介します。

- ・介護保険請求業務、勤怠チェック、物品発注、給与仕訳、日次決算、介護ソフトワズマン、福祉の森入力業務含む、計「29」業務の標準化を達成（暗黙知、属人化した仕事をフローチャートと詳細手順書で業務標準化）

- ・就業大臣ソフト給与 excel データの自動加工、勤務計画表自動作成および就業大臣ソフトアップロードデータへの自動転記、ワズマン出力データから福祉の森入力データの自動変換プログラムを開発（Python コードを用いた、Exe ファイル形式。特別なソフト導入不要、通常の PC 端末にてダブルクリックだけで稼働。）

- ・スタッフ 3 名の事務課の業務を 56 時間/1 年削減。さらに業務担当者切り替えの引継ぎ業務を 522 時間 / 29 業務削減。

- ・さらに、改善ノウハウのないチームスタッフとマネージャーに対して、業務改善活動を通して、改善マインドを身に付けることに成功。次年度以降の自律的な活動への基礎を築くことができました。